研究・教育・大学行政
志学会リトリート分科会４

鈴木寛 (Hiroshi Suzuki)

国際基督教大学

August 22, 2020

キリスト者として研究・教育・大学行政に関わること

紹介文

1980 年の学位取得から、2019 年春の定年退職迄の、研究、大学での役職と、個人的な生活に、証などへのリンクを加えた年譜を作成しました。キリスト者として（永遠の）いのちを生きるとは？ 研究・教育・大学行政の仕事には、どのような意味があり、どう向き合っていくのか。みなさんと一緒に考えたいと思います。事前に、質問・話し合いたいトピックを送ってくだされば、触れたいと思います。（hsuzuki@icu.ac.jp）

分科会プログラム

1. 自己紹介
   - お名前・所属 or お仕事・専門
   - 三つのうちのどちらか、またはいくつか
     A. 専門・研究はなにのため？ 神様にとって、人々にとって、自分にとって。
     B. キリスト者として「研究・教育・大学行政」について考えていること、みなさんに聞いてみたいこと。
     C. 日々の生活でたいせつにしていること。
2. わたしの 40 年（1980 年〜2020 年）
3. 質疑
4. ディスカッション

研究・役職・家庭など、そして 教育

年譜：各列・項目

1. 年：年のときも年度のときもあり
2. 齢：その年に達した年齢
3. 科研：研究代表者として受給した科学研究費
4. 研究論文：査読付き国際誌論文のみ（掲載年）
5. 職・役職：役職は役職手当があるもののみ（年度）
6. 家庭など：所属教会を含む
7. 信仰生活：活動（年）
8. 証・メッセージ：ホームページへのリンク付き（タイトルは省略形）
ホームページには、音声、ビデオがついているものもある。
「わたしの信仰告白」（2009）は、関係した方々のことも含まれるためホームページに掲載していない。
9. 社会活動：法人の理事のみ

研究・役職・家庭など、そして 教育（つづき）

教育：一人ひとりが自律的に学ぶことを目標に

1. 主たる担当授業
2. それぞれの科目のホームページへのリンク
3. ICU Open Course Ware で公開している授業へのリンク (DMSC)
4. 研究者のためのデータ分析
5. サービス・ラーニング (https://www.icu.ac.jp/academics/sl/)
6. 卒業論文・修士論文タイトル
7. 信仰生活：活動（年）
8. 授業においてたいせつにしていたこと
   学修支援とコミュニケーション

こころがけようとしたこと

- 教育から学修へ。教員の視点から学修者支援の視点へ。
- 多様な学修背景・学修目的・学修環境の学生の支援を目指して。

キリスト者として研究・教育・大学行政に関わること

問い

1. 研究について
   a. （自分の）研究はなにのためか。
   b. キリスト者としてふさわしい研究とそうでない研究があるのか。研究に、キリスト者であるかどうかは関係するのか。
   c. 研究の価値や、研究が神様のみこころかわからないときは?
2. 教育について
   a. 何を目的として教育に携わるのか。
   b. 教育においてキリスト者としてなにをたいせつにするのか。
   c. 公教育において、キリスト者であるかどうかは関係するのか。
3. 大学（機関の）行政について
   a. どのように関わり、責任を担えばよいのか。
   b. キリスト者として方針に問題があると感じたときはどうするか。
4. キリスト者としてどのように生きるか

研究の営みについて – キリスト者として

リーフレットより http://shigakukai.org/about/

志学会は、キリスト者による研究の営みについて以下のように理解します

- **学問的成果について：** 学術的な真理はすべて神からくるものであり、したがって、それはけっして神の創造と保持の業と矛盾しない。それゆえ、学術的な真理を求める研究者の成果は、最大限に尊重されるべきである。
- **研究者の責任：** 研究者は神のしもべとして各々の研究に従事する。研究成果の応用については、人間性と環境を含めたこの世がよりよいものとなるよう、神のしもべとしての責任を十全に受け入れて行う。
- **研究者の使命：** 研究者は、自然、社会、人間等についての聖書に基づいたキリスト教的世界観を学術的な研究に生かし、研究と信仰の対話に貢献し、対話の可能性と成果を他の人々と分かち合う努力をする。
- **励まし合いの必要：** キリスト者である研究者が生きた信仰を積極的に維持できるよう、互いに励まし合い、互いに助け合う。

ことば

- ナイチンゲール：神の御心を知るには統計学を学ばなければならない。
  自らの宗教の実践となる生活を送らなければ、あなたが信じていることをはっきりとしめすことはできません。
- マザー・テレサ：わたしにとってたいせつなのは、人類ではなく、一人ひとりの人間です。

信仰・たいせつにしていること

- 信仰とは「真理を事実と認識すること」ではなく「達し得たところに従って真理だと認識すること に、自分の人生を委ね、それに忠実に生きること」
- 40 年間を通して学んだこと。Be available, stay vulnerable!

ありがとうございました

Thank you very much!